部活動シラバス

部　名	部の目標
ソフトテニス部 (女子)	全国高校総合体育大会出場を目標とし、「心・技・体」と「志」を兼ね備えた人格育成を部活動を通して行う。 中学校から戦績を持っている選手は、さらなる高い技術を取得し、高校から始める選手については、チーム全体として支援し、レベルアップに努めていく。 地域はもちろん県全体から応援してもらえるチームを作っていく。

主な前年度の成績
中国ソフトテニス選手権大会　団体・個人出場 中国高校選抜大会　団体出場 県高校総体団体3位　個人ベスト8 県新人戦　団体2位　個人ベスト4 県高等学校選抜ソフトテニス大会　団体2位

部員数					活動場所
3月末現在(学年は新学年)					テニスコート④～⑥ 冬季期間中は、地区・市民体育館での練習を随時行う
3年	男	0名	2年	男	0名
	女	4名		女	6名
	計	4名		計	6名

部費		費用・用途
月別	年間	練習ボールは生徒会運動部費より購入する。
遠征費として、その都度徴収 (　　円)	登録料など (\約5,000円)	テニスラケット、テニスシューズ、ユニフォーム等は各自で用意する。 高体連以外が主催する大会・練習試合の参加料・交通費が必要となる。

活動内容(週別)	月	火	水	木	金	土	日	祝日
	15:50～18:50 テニスコートにて 通常期:基本練習 大会前:試合形式練習 主に、ネットプレイヤーとベースラインプレイヤーと分けて練習する	15:50～18:50 テニスコートにて 通常期:基本練習 大会前:試合形式練習 主に、ネットプレイヤーとベースラインプレイヤーと分けて練習する	15:50～18:50 テニスコートにて 通常期:基本練習 大会前:試合形式練習 主に、ネットプレイヤーとベースラインプレイヤーと分けて練習する	15:50～18:50 テニスコートにて 通常期:基本練習 大会前:試合形式練習 主に、ネットプレイヤーとベースラインプレイヤーと分けて練習する	15:50～18:50 テニスコートにて 通常期:基本練習 大会前:試合形式練習 主に、ネットプレイヤーとベースラインプレイヤーと分けて練習する	9:00～13:00 テニスコートにて 通常期:基本練習 大会前:試合形式練習 主に、ネットプレイヤーとベースラインプレイヤーと分けて練習する	部活動休養日	原則部活動休養日

活動内容(月別)(自主練習等を含む)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	初旬は、基礎練習 中旬は、実践練習による試合形式 下旬は、大会を意識した練習 ほぼ毎週末に大会あり	総体地区予選から課題をみつけ克服していく練習を行う 下旬は、総体へ向けての試合戦略を意識した練習	総体から課題を見つけ克服していく練習	実践を意識した総合練習	基本練習 上旬:ストローク中心 中旬:各プレイヤー中心 下旬:ペア練習	初旬は、実践練習による試合形式 中旬は、大会を意識した練習 下旬は、地区予選から課題を見つけ克服していく練習	実践を意識した総合練習	室内練習に移行 初旬は、室内を意識した練習 中旬は、大会を意識した練習 下旬は、大会から課題を見つけ克服していく練習	実践を意識した総合練習	初旬は、実践練習による試合形式 中旬は、大会を意識した練習	基本にもどり、次年度への体力を作る 乱打、各プレイヤーの練習	上旬は、基本練習を中心 中旬は、ペア練習を中心 下旬は、大会を意識した練習
遠征・合宿(その費用)	・ルーセントカップ (松江:\2000/チーム) ・県シングルス選手権(赤碕) ・国体1次予選(鳥取)	・日野クラブ杯 (江府)	・山陰選手権(松江) ・国体最終選考 (\1500/ペア)		・真田杯 (\1500/ペア) ・STEP2(米子)		・西島杯(米子)	・県高校選抜 (鳥取) 参加資格: 県新人戦 団体ベスト4	・西日本室内 (団体:広島 \30,000円)		・県高校インドア (\1500/ペア) ・強化練習会(鳥取)	
出場予定大会(高体連関連)	・県総体地区予選 (米子)	・県総体(鳥取)		・中国大会 県総体 個人20位内 団体4位内	・全国高校総体 県総体 個人6位内 団体優勝	・県新人戦地区予選(米子)		・県新人戦		・中国選抜(福山) 県選抜1・2位 ・中国新人(福山) 県選抜3・4位		
学校行事予定		中間考査	期末考査 高校総体	夏季休業	夏季休業 夏季休業 夏季休業 盆 13～15	学校祭	中間考査	期末考査	冬季休業 年末年始 29～1/3	冬季休業 センター試験	学年末考査 三年自由登校	春季休業